



## ボクと今

---

いつからだろう？  
騒いでる子供を  
冷めた目で見て  
大人になったつもりで

いつなんだろう  
本当の大人を目指してる時点で  
まだ子供だって知るの

割と上手くやってきた  
そう思ってた

手に入れたいものの中で  
本当に必要なモノって  
ほんの僅かで  
ボクはまだ掴めてないんだ

## 凜花

---

街の片隅で揺れてる

小さな花も

星を見てるから

## 深海

---

深い海に沈んで  
空を見上げれば  
月が僕を照らして  
悲しく染めた

空を見つけたら  
また夢を紡いでいく  
そんな僕ら  
輝ける光

ああまだ見えなくて  
届きそうにないけど  
言葉で伝わる想いがあるなら

深い海に沈んで  
空を見上げれば  
月が僕らを照らして  
優しく包んだ

## 存在

---

君がかけた魔法は  
なんの迷いもなく  
僕を苦しめるんだ  
君に触れることが出来れば  
僕は消えてしまってもいいや

## 月光

---

輝く月の影を片手で覆い  
透き通った光を未来に重ねる  
すると僕らの胸に溢れてくる  
想いをずっと握りしめて眠る

# 花

---

凜と咲く花達も  
ささやかな未来も  
花ひらくって信じれば  
変われる気がするんだ

## planetarium

---

一面に散りばめられた光が  
寒空の下に降り注ぐ  
この街じゃそれも夢のよう  
冷たい息と共に濁ってしまった

冬の空 浮かぶオリオン  
目を閉じれば 消えてしまう  
ぼくは存在を確かめるように  
君の手を 握った

東京はビルの明かりが覆い  
満点の星も消し去ってしまう  
寂しさを紛らわすために  
行き着いたのはプラネタリウム

冬の空 浮かぶオリオン  
目を閉じれば消えてしまう  
君はぼくの心見透かして  
澄んだ瞳で宙見上げてるんだ



## ふるさと

---

暖かい風に揺られて  
古びた街並みを歩く  
変わらないものを探して  
変わっていく日々の中で

## 才能

---

バランスのとれた測りなんかじゃ  
理解出来ない次元の  
色鮮やかな風景が  
そこに広がってみえるのかい

## 手作り弁当

---

賞味期限切れと診断された弁当

期待されたほど売れ行きも優れない

消費者の気持ちと噛み合わない歯車

最高の味だけで十分だと思ってた

お菓子になんか負けないぞ

手作りの愛情

お酒になんか負けないぞ

酔わせる自信もある